



# 創刊号

News Letter Vol.1

発行：2023年3月吉日

## 山形県医療的ケア児等 支援センターからご挨拶

山形大学医学部附属病院  
小児科長 三井 哲夫



医療技術の進歩により、様々な難治性疾患の子どもが元気に生活できるようになってきました。少子化が進む一方で、何らかの医療的対応（医療的ケア）が必要な子どもの数は、むしろ増えてきている状況です。病院や施設ではなく、家庭や学校、社会で暮らせるようになってきているのは素晴らしいことですが、こうした医療的ケアが必要な子どもの生活を支える仕組みは、まだまだ不十分です。

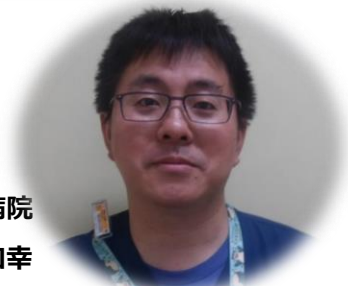
2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択され、近年有名になったSDGSの内容を説明した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、その重要な要素のひとつとして、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

全ての子どもが、どんな重い障がいや病気を持っていても一人の人として大切にされ、家庭、地域社会において、それぞれが持って生まれた命の可能性をできる限り発揮し、成長することができるのが重要です。住んでいる地域で、多職種連携のもと、子どもと家族を中心とした包括的ケアを受け生活し、教育を受け、社会に参加していく、こうした当たり前を実現する機関として、山形にも『山形県医療的ケア児等支援センター』が関係各位のご支援のもと発足いたしました。

今後みなさまのご協力を得ながら、一緒に「誰一人取り残さない」社会実現に努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 支援センターの取り組み

山形大学医学部附属病院  
小児科助教 中村 和幸



山形県医療的ケア児等支援センターでは、①相談・支援、②人材育成、③情報集約・調査・共有を取り組みの柱としています。①は家族や関係機関からの悩みや困りごとなどの相談を受け、支援機関・施策の紹介や、医療・保健・福祉・教育・保育・労働などの関係機関が有する必要な情報を提供します。②は支援者の支援として研修などの人材育成や情報発信に取り組みます。③は全数把握やニーズ調査を行い地域格差なく課題解決ができるよう繋げます。対象者となるのは県内に居住する医療的ケア児（18歳以上を含む）及びその家族、市町村、医療的ケア児等コーディネーター等の支援者及び関係機関等です。

医療的ケア児とその家族に関わる多機関・多職種をつなげ、共に課題解決を目指し、地域共生社会の育成に貢献していきます。

# 山形県医療的ケア児等支援センターって どんなところ？

相談・支援

人材育成

情報集約・調査・共有

に取り組み、日常的に医療的ケアを必要とする子どもと家族が、家庭や地域で安心して生活できるよう様々な相談をお受けする窓口です。

支援センターに配属されたスタッフは医師(兼務)、医療ソーシャルワーカー(専任・社会福祉士)、事務員(専任)の3名です。

相談は平日8:30～17:00で電話・面談・メール等で受け付けています。

今後、「News Letter」等で具体的な活動の紹介をしていきます。

医療的ケア児に関わる  
困りごとがありましたら  
まずはご相談下さい。



## ロゴマークのご紹介

山形が日本一の生産量を誇るさくらんぼや紅花のイメージから赤色を、その中でも明るい色合いの“チェリーレッド”をロゴカラーとしました。

山形(やまがた)の頭文字の「や」をハートでシンボライズしました。

中心は医療的ケアを必要とする子どもの笑顔です。



にっこり笑う子どもを優しく抱っこしている家族や支援者との温かいコミュニケーションのシーンをイメージしています。

子どもの健やかな成長、そして日々の喜びがたくさんありますように…という思いを込めて、みなさまに末永く親しまれるロゴマークになることを願います。

## お知らせ ホームページを立ち上げました！！

随時「お知らせ」「講演会・講習会案内」「お役立ち情報」を更新します。また「相談窓口」(相談フォーム)もありますのでご活用ください。

<https://yamagata-kodomo.center>



山形県医療的ケア児等支援センターについてご意見、ご要望をお待ちしています。

全国各地の支援センターでも思いのこもったロゴマークや愛称があるようです。

ぜひご覧になってみてくださいね。

## お問い合わせ先

### 山形県医療的ケア児等支援センター

〒990-9585 山形県山形市飯田西二丁目2番2号  
山形大学医学部附属病院  
地域医療連携センター内

【TEL】023-628-5533(直通)

【E:mail共有】mccsc-yamagata@mws1.id.yamagata-u.ac.jp

【担当】武田・齋藤